

健康
イベント

2025年11月29日(土)

知って安心、こんなに便利!
「おうち診察」入門

街中で病院の訪問車を見かけることが増えてい
ます。実際にどんな医療を受けられるのかご存
知ですか?「どうやって来てもらうの?」「1回い
くらかかるの?」といった疑問に、訪問診療医が
ご利用ケースを交えながら分かりやすく紹介し
ます。将来に備えて、お茶を飲みに出かけるよう
な気軽なお気持ちでお越しください。

【時間】13:30~15:00 【場所】愛知国際病院ホスピス研修室

【定員】40名(要予約) 【参加費】無料

イベントに関するお問い合わせ ☎0561-73-7721(病院代表) ✉f.moroishi@aisen-kai.jp(担当:諸石)

教育
連携

職場体験、
実習受け入れ

作業療法士の
実習で、患者さんと
空手の型を練習!

当法人では医学生や看護
学生、セラピストを目指す
学生の実習を愛知国際病
院や老人保健施設、訪問
看護ステーションで毎年
多数受け入れています。

そのほかにも近隣中学校の職場体験や、学校を訪問して職
業についてお話するなど、医療福祉人材の育成にも積極
的に貢献しています。



大学女子
サッカー

全国大会出場に向けて、
東海予選を勝ち抜きます!

9月から11月にかけて、インカレ東海予選
で熱戦を繰り広げています。昨年は全国大
会まであと一歩のところまで惜敗。今年度は
2025-2026年JFA・WEリーグ特別指定
選手として選出された伊藤凛莉選手をは
じめ、チーム一丸となってリベンジに燃えてい
ます!日進グランドでの試合も多数開催中。
公式ホームページやSNSでも試合情報を
掲載しているのでぜひチェックしてみてください!



一昨年、昨年とインカレ本戦に出場できず悔しい思
いをしてきました。今年こそは全員でインカレ予選を
勝ち抜いて本戦に出場します!応援してください方
や先輩方に結果で恩返しできるよう精一杯頑張ります
ので、応援よろしくお願いします!

愛知東邦大学女子サッカー部
キャプテン
藤本 日菜(ふじもと ひな)



Instagram

地産
地消

道の駅「マチテラス日進」で日進市を
はじめとした愛知県の特産品を楽しもう!

8月にオープンした話題の道の駅。特産品コーナー
では農産物や加工品などのおいしいものが並んで
います。なかでも話題は和菓子や焼き菓子などの
「にっしんブランド」コーナー。愛知牧場のミルクを
使ったスイーツのほか、ここでしか買えない商品も
あって新しい出会いにわくわくします。



マチテラス日進

【住所】〒470-0121 愛知県日進市本郷町前田33番地 【TEL】0561-76-7820

【直売所】9:00~18:00 【飲食】10:00~20:00 ※ラストオーダーは店舗によって異なります

にっしんブランドプロジェクト

昨年10月に市制30周年を迎えた日進
を盛り上げようと、商工会議所が中心と
なってプロジェクトが立ち上がりました。
市の地域資源である「米(米粉)」、きぬあ
かり(小麦)、プチヴェール(野菜)」を原
材料にした和洋菓子が「おいしい」と人
気です。今後も商品が追加される予定。
お楽しみに!

【誌面協力】日進市農政課

賛助会員募集の
お知らせ

アメニティーの充実(施設環境、造園、園芸)、ホスピスでの諸行事、広報啓蒙活動、家族会の開催、ボランティアの活動、教育活動のために
是非ご協力をお願いいたします。(ご入会いただいた方には年に4回広報誌をお送りいたします)下記の口座に会費をお振り込みください。

【①郵便局窓口利用】郵便振替口座 00890-5-3757 【②ATMおよびインターネット振込利用】ゆうちょ銀行(9900) 店番089 当座0003757

【③④口座名義】愛知国際病院ホスピス賛助会 【一口】1,000円(おいくらでも結構ですが、できましたら、5口以上でお願いいたします)



【医療法人財団 愛泉会】

■愛知国際病院 ■老人保健施設 愛泉館 ■指定居宅介護支援事業所 愛泉館 ■日進市東部地域包括支援センター
■訪問看護ステーション えまい ■有料老人ホーム カナン 【関連施設】アジア保健研修所(AHI)

〒470-0111 愛知県日進市米野木町南山987-31 Tel.0561-73-7721(代) Fax.0561-73-7728 http://aisen-kai.jp/

医療法人財団 愛泉会 広報誌「みなみやま118号」 発行日:2025年10月1日 発行人:井手宏 編集発行:法人だより委員会 編集長:近藤正嗣

※無断で複写、複製、転載することを禁じます。

お問い合わせ

【受付時間】月~土曜 8:30~17:30

医療
について

地域連携室

☎0561-73-9179

介護
について

日進市東部地域包括支援センター

☎0561-74-1300



医療法人財団
愛泉会

愛知国際病院

老人保健施設 愛泉館

みなみやま

2025年 秋
vol.118

特集

明日のために、今知ろう

1~4 増える在宅医療

5 私らしく、家族らしく

●訪問診療に切り替えるタイミングって?

6 インフォメーション

裏表紙 地域とともに、愛泉会



生活アドバイス
がもらえる

お家で
診察

相談も
しやすい

お家で
リハビリ

薬も
届けてくれる

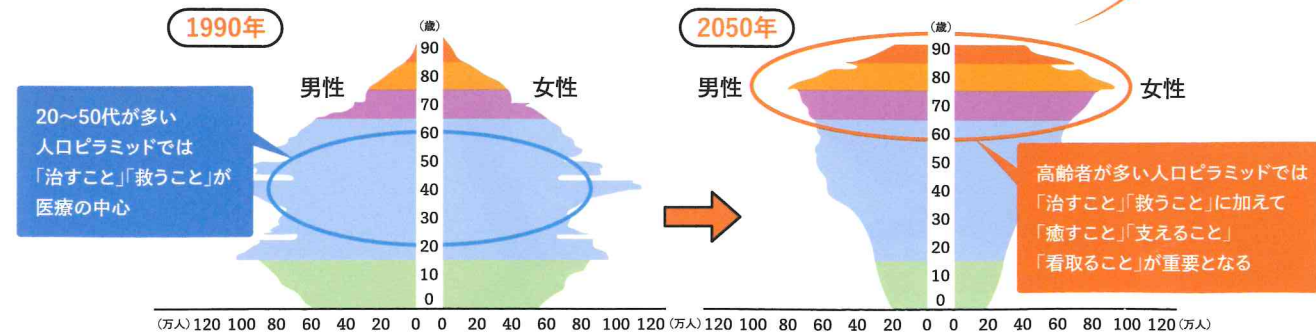
家族も
安心

在宅医療

増える 在宅医療

足腰が衰えたり、疲れやすくなったりすると病院に通うのもひと苦労。
65歳以上の人に限ると、「外来」「入院」の患者さんが減る一方で
医師や看護師が定期的に自宅を訪問する「在宅医療」の患者さんが増えています。
それは、通院への不安がなくなり、安心が増えるということ。
「在宅医療」は重要な社会インフラとなりつつあります。

日本の人口構造と医療・介護



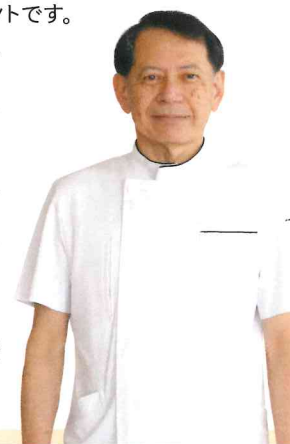
※国立社会保険・人口問題研究所より

「病気を診る」「人を診る」に加えて 「生活を診る」が医療に求められる時代です

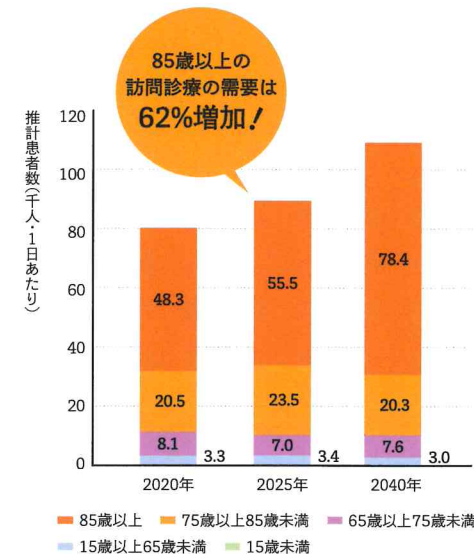
日本人の平均寿命は男性81.09年、女性87.13年(2024年:厚生労働省調べ)。ほぼ右肩上がりに平均寿命が伸びている日本の医療現場では、慢性期医療の必要性が高まっています。かつて病院は「病を治す」「命を救う」ための場所でした。ところが長寿社会では、「生活する」「癒す」「病を抱えて生きる」を支える役目も求められます。その最前線となるのが「在宅医療」です。在宅医療では、「病気を診る」「人を診る」に加えて、外来では見えない「生活を診る」ことも重要なポイントです。

最近は「老老介護」「認知介護」「昼間だけ独居」など、高齢者を取り巻く状況は大きく変わっています。私たち医療従事者には、患者さんやご家族の抱える問題にも目を向けながら、今まで以上に、多面的に支える医療が求められています。

理事長 井手 宏



年齢階級別の訪問診療患者数の将来推計



出典:厚生労働省 患者調査(2017年)
総務省「人口推計」(2017年)、国立社会保障・人口問題研究所「日本の地域別将来推計人口(2023年推計)」を基に地域医療計画課において推計

愛泉会の手厚い在宅医療

私たちは1982年から在宅医療に取り組んでいます。

愛知国際病院 在宅診療部

TEL 0561-73-3191
(月曜～土曜 8:30～17:30)

医師・看護師が訪問。
訪問診療(定期)のほか、
急変時の往診にも対応

愛知国際病院

TEL 0561-73-7721
(月曜～土曜 8:30～17:30)

緊急入院やリハビリ強化、
レスパイト入院のほか、
各種検査にも対応

訪問看護ステーション えまい

TEL 0561-73-8154
(月曜～金曜 8:30～17:30)

看護師とリハビリスタッフが連携。
24時間365日の対応で、
継ぎ目のない細やかな看護を提供

老人保健施設 愛泉館

TEL 0561-74-1711
(月曜～土曜 8:30～17:30)

入所、ショートステイ、デイケア、
訪問リハビリで在宅や
在宅復帰をサポート



日進市東部地域包括 支援センター

TEL 0561-74-1300
(月曜～土曜 8:30～17:30)

高齢者のよろず相談窓口として
さまざまな不安をサポート

指定居宅介護支援事業所 愛泉館

TEL 0561-74-1341(月曜～土曜 8:30～17:30)

ケアマネジャーが心身の状態や居住環境に配慮して
「介護サービス計画書」を作成

もっと身近に 在宅医療を

医師や看護師が自宅を訪問する、と聞くと、
重度の患者さんをイメージする方も少なくありませんが
早い段階から在宅医療を始める方も多くいらっしゃいます。
愛泉会は「訪問診療」「訪問看護」「訪問リハビリ」の3つを柱に
生活に寄り添う、安心を支える在宅医療を提供しています。

さまざまな処置が可能な 訪問診療

医療・介護のIT化やDX化が進み、訪問先でも電子カルテを瞬時に取り出せるなど、訪問診療の質が格段に向上しています。また、訪問看護とも密に連携を取ることで、日常の生活の様子や心配事なども把握して、治療方針や今後について適切に対応します。

訪問診療の利用条件は「通院が困難になったとき」とされますが、無理して通院を続けるより、早めに訪問診療をスタートすることで、結果として自宅での生活を長く続けることにつながります。「通院は疲れてしまう」という方は、早めの訪問診療に切り替えるタイミングかもしれません。

早めに訪問診療を利用するメリット

- ご家族の安心や介護負担軽減につながる
- より長く、自宅で安楽に過ごすことが期待できる
- 医療スタッフとの間の理解が深まりやすい

愛知国際病院の訪問診療で対応可能（一部）

- 血液検査（当日中に結果判明） ● 点滴 ● 予防接種 ● 尿検査 ● 褥瘡処置 ● 腹水穿刺
 - 在宅酸素 ● 経管栄養（胃ろう、経鼻）管理 ● 在宅緩和ケア ● 医療用麻薬の処方
- 問診、血圧などの一般的な診療に加えて、ご状態やご希望に合わせてさまざまな処置が可能ですので、ご相談ください。

お体の声にも耳を傾けます

訪問先では、お辛い気持ちを少しでも軽くできるよう、会話も治療の一環と考えています。また、ご自身の体調をうまく伝えられない方や認知症の方に対しては、触診や聴診をより丁寧に、変化を見逃さないよう、お体の声に耳を傾けます。まだまだ「自宅に医師を呼ぶ」ことをためられる方もいらっしゃるの、分かりやすく伝わりやすい話し方でつながりを深められるよう心掛けています。「在宅医療にしてよかった」「この先生でよかった」と思っていたらうれしいです。

医師（総合診療科、訪問診療） 渡辺 伸一



24時間体制で見守る 訪問看護

主治医の指示のもと、看護ケアを自宅にお届けしながら日々の体調を管理します。高齢化が進むなか、複数の病気を抱えている人が増えており、24時間体制で緊急時対応も行う訪問看護の役割はますます重要になっています。愛知国際病院や地域の診療所とも連携し、継ぎ目のない細やかな看護の提供に力を注いで、医療依存度の高い方やがん患者さんの終末期看護も担います。

訪問看護の内容

- 患者さんの健康状態のチェック ※血圧、体温、呼吸、脈拍
- ご家族への介護指導、療養上のご相談
- 日常生活の看護 ※清潔の保持など
- 福祉サービス・介護用品利用のお手伝いなど
- 医学的処置・管理 ※カテーテル、床ずれなどの処置

安心して任せていただける関係づくりを

「老老介護」や「昼間はおひとり」など、高齢者の状況は多様化しています。その方たちを支えるには、生活の状況も十分に把握する必要があります。体調をしっかりと確認させていただきながら、看護とリハビリが双方の視点で安心・安全な生活をしっかり支えていきます。

訪問看護ステーション えまい 看護師 鈴木 功子



生活に直結する 訪問リハビリ

理学療法士がご自宅に訪問し、患者さんに合わせた生活目標を設定。自主トレーニングのメニュー作成や福祉用具の選定を含め、運動機能の維持・向上を支援します。病院リハビリや通所リハビリと比べ、自宅でトレーニングする訪問リハビリは、「家の階段を上り下りできるようになる」「玄関まで歩いていける」など、そのまま生活の向上につながるのが一番の強みです。また、ご家族にも介助方法のアドバイスを行うなどきめ細かい対応を大切にしています。

リハビリを人生目標につなげたい

不安を抱えながら病院を退院された方、身体の衰えと共に、住み慣れた自宅での生活が困難になってきた方。その方々を支えるには、病気やケガへの対応だけではなく、生活の状況を十分に把握する必要があります。実際に生活する場で動作方法と環境を整え、安心して生活できるように他職種と連携しながらサポートします！

訪問看護ステーション えまい 理学療法士 茶木 牧美



在宅生活を応援する 老人保健施設 愛泉館

入所、ショートステイ、デイケア、訪問リハビリと、さまざまな役割を担う愛泉館ですが、いずれも「住み慣れた場所でいきいきと暮らし続ける」をサポートするためのサービスです。要支援から要介護まで、さまざまなリハビリプログラムを用意し、機能回復や機能維持を目指します。

あなたのことを「一緒に考える」場所

愛泉館は、利用者さんのご希望、困っていることなどをお伺いしたうえで、あなたの生活を「一緒に考える場所」です。デイケアや入所では、3カ月後の目標を立て、一緒にゴールを目指します。また、ご自宅では、生活環境に適したリハビリを提供します。法人グループである愛知国際病院、訪問看護ステーション えまいのリハビリスタッフとも連携しながら、利用者さんをサポートできるのも私たちの強みです。

老人保健施設 愛泉館 相談員 長屋 貴文



私らしく、家族らしく

愛泉会をご本人やご家族の「想い」をつなぐ選択を応援します



相談者：79歳男性

10年前に脳梗塞を発症しましたが、発見が早く左に少し麻痺が残る程度で済みました。妻が他界し、一人で生活するようになって3年になります。近所の人のすすめで介護保険を申請し、今はヘルパーさんが週1度来てくれています。通院は車で10分くらいの所にあります。そろそろ免許返納を考える時期でもあり、担当のケアマネさんが訪問診療について教えてくれましたが、少しでも体が動くうちは、健康のためにもできる限り、通院を続けたほうが良いように思っています。



大病を患っていないくても、通院から訪問診療に切り替えると、自宅生活がラクになることも！

訪問診療



月に2回の定期診療が基本ですが、もしもの時は往診にも対応。24時間、365日いつでも医療スタッフに相談できる、という安心感があります。

ポイント

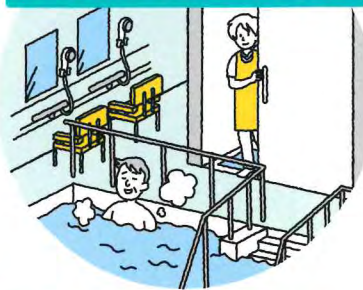
わたしたちも一緒に、よりよい選択肢を考えます。「お困りではありませんか？」と心配されることが増えてきたら、訪問診療を始めるタイミングかもしれませんね！

訪問看護



看護師がケアマネやヘルパーとも協力し、自宅生活をサポートするさまざまな提案も行います。「食事が進まない」「よく眠れない」などは環境を変えるだけで改善することも。

通所リハビリ(デイケア)



送迎バスで通います。入浴サービスを利用すれば大きなお風呂で清潔を保つことができ、食事や運動のアドバイスも受けられるので、生活にメリハリが生まれます。



相談できる、一緒に考えられる、愛泉会。

できるだけ安心して過ごすことができる場所を、一緒に考えます

- ☒ 外来診療の際には、医師や看護師に生活の様子や不安もぜひお話しください。
- ☒ 費用のこと、医療や介護保険のこと、遠慮なくお問い合わせください。電話でも対面でもご相談可能です。

まずはご相談



愛知国際病院 地域連携室

☎0561-73-9179 (月曜～土曜 8:30～17:30)

訪問診療に切り替えるタイミングって？

Information

インフォメーション

愛泉館

愛泉館に話題のリハビリアイテムが登場します

利用者さんにより安心で、より積極的な運動プログラムを提供するために、愛泉館ではレッドコードを導入します！天井からつるされた赤い2本のロープを用いて行う「スリングエクササイズ」は、ロープを手でギュッとつかむことが転倒予防となり、無理なく関節の可動域をひろげることができます。ロープの長さやポジションを変えるだけで、座った状態や介護度の高い方でも負担なく運動できます！本格運用は2025年11月頃を予定しています。公式Instagramで運動の様子を紹介していきますので、ぜひご覧くださいね。



デイケアや、入所などで利用します！



愛泉館 Instagram

愛知国際病院

睡眠時無呼吸症候群のCPAP療法、ご存知ですか

最近よくテレビなどでも紹介されている睡眠時無呼吸症候群に対するCPAP療法を、当院の外来でも提供しています。検査・治療は通院のみで完結します。

【検査・治療の流れ】

- ①内科受診 → ②検査キットを自宅で受け取り、検査する → ③受診して結果を聞く → ④睡眠時無呼吸症候群と診断され、治療を希望する場合は、自宅治療開始（自宅CPAP装着）

睡眠時無呼吸症候群は認知症や糖尿病、心疾患等との関連性があるといわれています



愛泉会

ユマニチュードの講師を招いて研修を行いました

法人が取り組んでいる認知症ケアのひとつ「ユマニチュード」について、職員研修を開催。ユマニチュード学会のインストラクターである京都大学医学部附属病院 教育担当看護師長 岩崎由加子さまを講師にお迎えして、「患者と良い関係を築くための考え方(哲学)と技術」を学びました。プロフェッショナルとしてのケアを再認識する講義で、実技ではあちこちから笑いも！「ぜひ毎日の業務に少しずつ取り入れて」という先生のお話に参加者も大きくうなずいていました。



認知症ケア向上委員会

愛泉館のリハビリもユマニをもっと実践していきます

表紙のイラスト

ペインティングナイフで描く、あたたかみのある風景

イラストの背景には『モデリングペースト』という粘り気のあるパテ状の画材を使っています。これをペインティングナイフで塗りつけることで、ハンドメイドならではのあたたかみを表現しています。イメージどおりに仕上がらず苦戦することもあります。立体的で独特の質感がうまく出せたときは達成感があります！今号は、キンモクセイをイメージしたモデリングを制作しました。モズの高鳴きと呼ばれる鳴き声が秋の空に響く様子をお楽しみください。



名古屋学芸大学 メディア造形学部 デザイン学科 2年 前田 理央香さん

編集こぼれ話 義父が訪問診療を利用していた頃、カレンダーに印をつけ、先生が来てくれる日を心待ちにしながら義母は「食事について聞こう」「こういうときはどうしたらいいか」などメモに綴っていました。介護する家族にとって、ちょっとした疑問をいつもの部屋で気軽に医師に聞けることの「心強さ」「ありがたさ」はなくてはならないものでした。ささやかだけど、大きな安心。多くの人に届くといいなと願っています。(諸石)



あなたと共に、パートナーシップ宣言

わたしたちは、患者さん・ご利用者さんやご家族の診療・介護への参加を推進しています。

